

# 「新しい働き方モデルオフィス」の概要

～公務部門で全国初  
兵庫県庁の挑戦～



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



兵庫県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 新しい働き方モデルオフィスとは

生産性の向上

×

職員の働きがいの向上

2つを両立させる新しい働き方に、すべての職員が挑戦するトライアルの場

## Point

### 本庁各部で実施

❖本庁各部が1ヶ月交代でモデルオフィスでの勤務を実施（6/5～2月末まで）

6月：総務

7月：財務、福祉

8月：土木

9月：農林、出納

10月：教委

11月：企画、県民

12月：保健、病院

1月：まち、企業

2月：産労、環境

### 新しい働き方の実践

❖大胆なテレワークの実施  
～出勤率4割への挑戦～

公務部門 全国初

❖フリーアドレス等を活用した柔軟な働き方

❖ペーパーレス・ストックレスの徹底

### 実践結果の活用

❖業務記録票や職員アンケートにより、モデルオフィス実践結果の評価・検証を実施

❖評価・検証結果を踏まえ、

- 課題に対する解決策を検討
- 今後の県庁舎のあり方を検討

# モデルオフィスでの取組 ~新しい働き方の実践~



## 01. 大胆なテレワークの実施 公務部門 全国初

1 在宅勤務、サテライトオフィス勤務といったテレワークを最大限に活用し、出勤率4割程度で運用

- ▶ 通勤時間の有効活用
- ▶ 通勤ストレスから解放
- ▶ オフィス面積の合理化

2 非対面でもチームワークを発揮して効率的に働けるようオンライン前提のコミュニケーションを徹底

電話連絡  
口頭指示

- グループチャット、ビデオ通話、  
オンライン会議の徹底
- ▶ チーム内の情報共有の強化



【総務部】  
職員数 273人 出勤率4割  
うち在宅・サテライト勤務者数 164人 3

# モデルオフィスでの取組 ～新しい働き方の実践～



## 02. フリーアドレス等を活用した柔軟な働き方

1

オープンオフィス・フリーアドレスの導入

2

豊富なコミュニケーションスペースの整備

所属の垣根を越えた活発な連携・交流  
▶ 部局横断の課題への対応力の強化  
▶ 新たなアイデアの創出



# モデルオフィスでの取組 ～新しい働き方の実践～



## 03. ペーパーレス・ストックレスの徹底

1

ペーパーレスでの協議・打合せ、  
電子決裁の徹底

2

全席へのデュアルモニターの配備

3

コピー機台数の削減

(現執務室25台⇒モデルオフィス2台 [総務部])

4

書棚の削減 (10人あたり3段書棚が1台)

- ▶ 印刷時間の短縮、検索性の向上等による事務処理の効率化
- ▶ SDGsへの貢献

【ペーパーレスでの業務風景】



デュアルモニターの活用



ペーパーレスでの協議

# モデルオフィス実施結果の活用

## 評価・検証の実施

- ❖モデルオフィス業務記録票や職員アンケートにより、業務効率、業務管理、職員満足度等の視点から、評価・検証を実施
- ❖新たに生じた課題に対する対応策を検討

## 有識者への意見聴取

評価・検証結果、課題への対応等について、有識者で構成されるアドバイザリー会議からの助言を聴取

本庁における  
新しい働き方の本格実施

新しい働き方の  
県地方機関への展開

今後の県庁舎のあり方検討